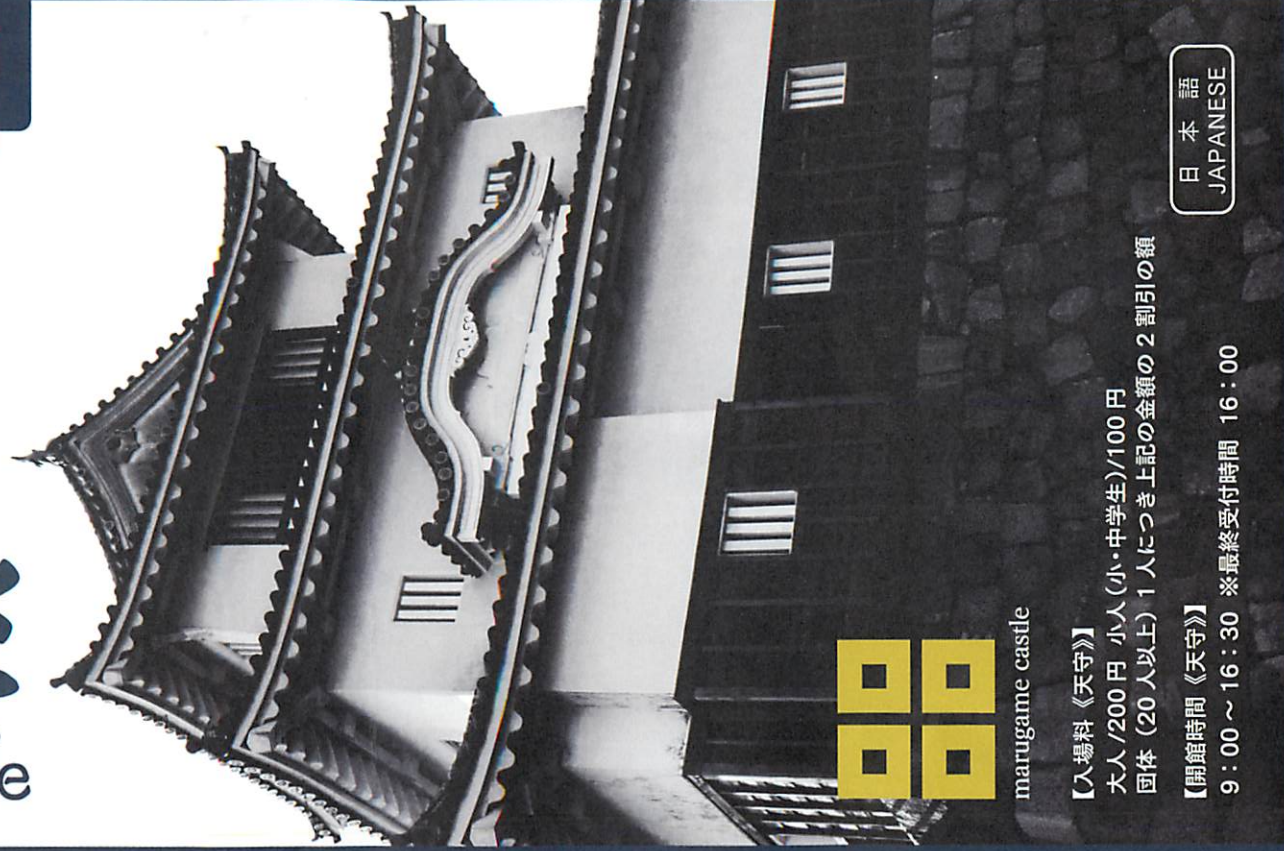


丸亀城

marugame castle

国指定重要文化財



marugame castle

【入場料《天守》】

大人 / 200 円 小人 (小・中学生) / 100 円

団体 (20 人以上) 1 人につき上記の金額の 2 割引の額

【開館時間《天守》】

9 : 00 ~ 16 : 30 ※最終受付時間 16 : 00

日本語
JAPANESE



丸亀城案内絵図

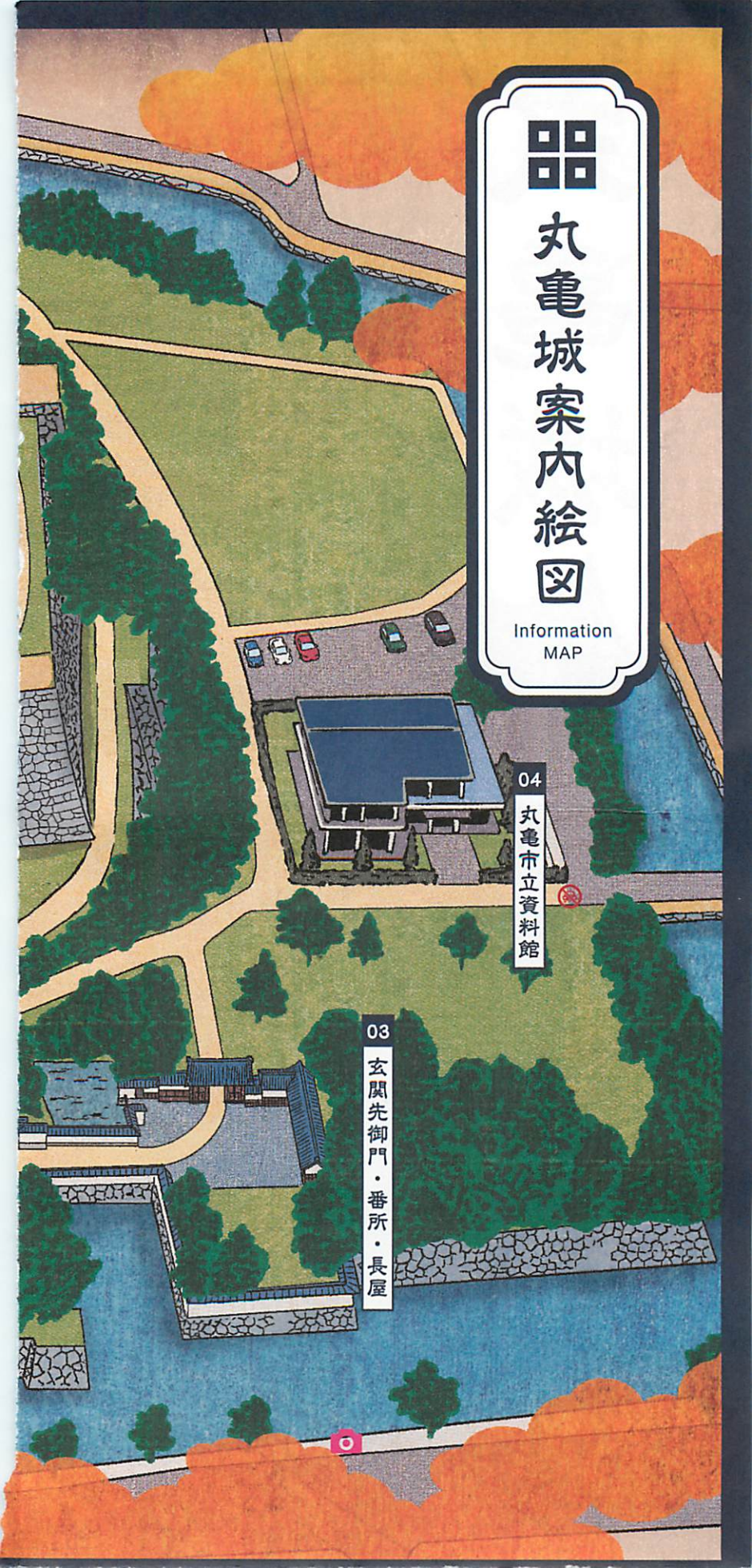
Information
MAP

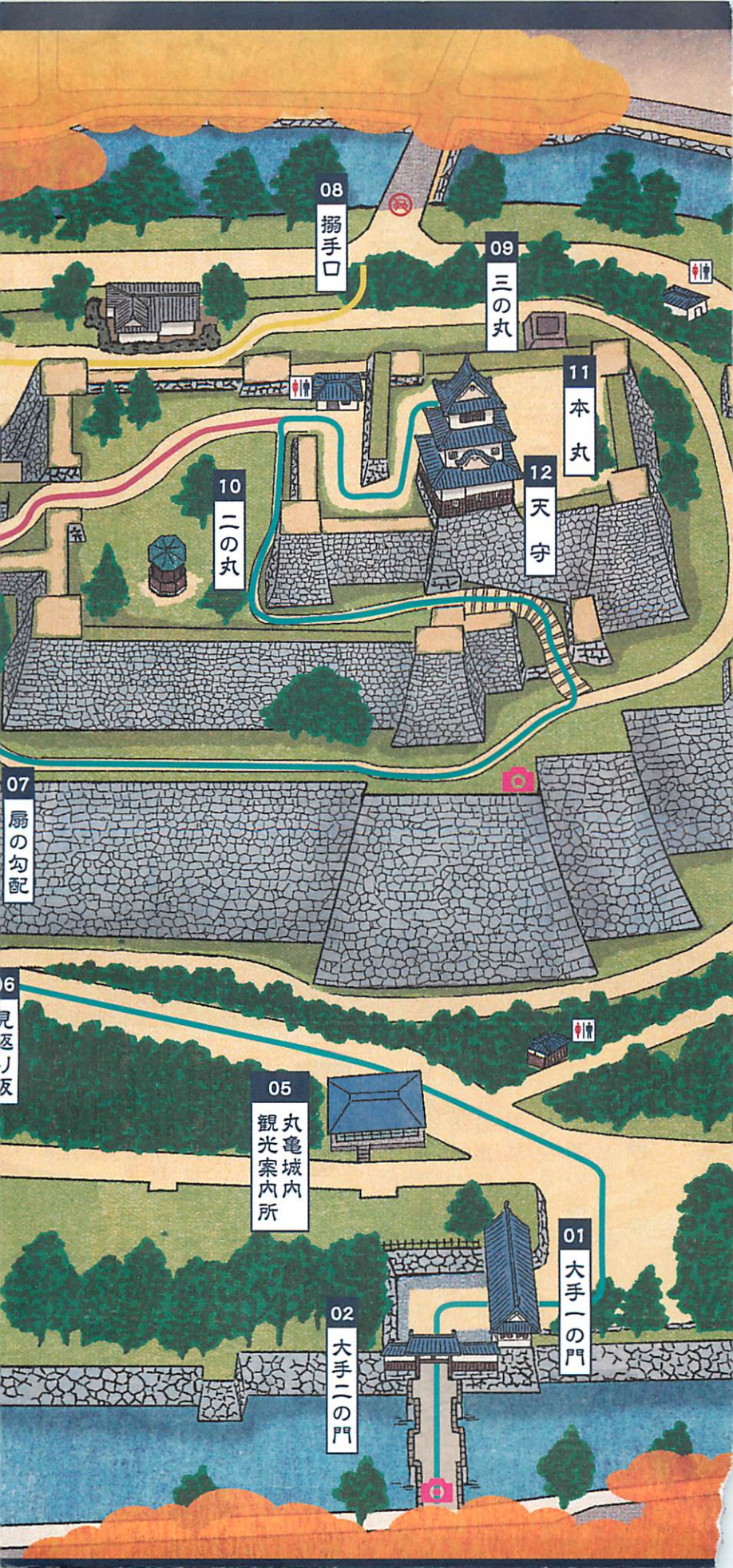
04

丸亀市立資料館

03

玄関先御門・番所・長屋





08 搦手口

09 三の丸

11 本丸

12 天守

10 二の丸

07 扇の勾配

06 見返り反

05 丸亀城内
観光案内所

02 大手二の門

01 大手一の門



打ち込み八ギ

丸亀城の主な石垣はこの積み方です。打ち込み八ギは、割って加工された石を用いて積み上げた石垣です。



切り込み八ギ

石を削り精加工した石を用います。石の合わせ口を精巧に隙間なく積んでいます。大手枳形や南山中の枳ノ木御門跡の櫓台石垣に見られます。



刻印

丸亀城の石垣には、「九」「左」「田」「井」など様々な種類の刻印が確認されています。



丸亀城人柱伝説

れます」と、すい
と、すい
すい城壁
そんな
男が敵に寝返ったりしたら
大変だと恐れた殿様は、二の丸井戸の内
部を探らせる口実で、男を井戸に入らせ
ている間に石を投じて殺してしまいました。
を登ってしまいます。

シトシトと雨の降る夕暮れ、一人の豆腐売りが丸亀城の作業場付近で豆腐を売りつつ通行していました。これを待ち構えた人夫たちは豆腐売りを捕らえ、用意した穴に投げ込みお城の人柱として生き埋めにしてしまったのです。以来、雨の降る夜は築城の犠牲となった豆腐売りの怨霊が「トーフトーフ」と泣き続けるのだと云われています。

石垣の名城

丸亀城の石垣は、主に築城技術が最も発達した山崎氏
のときに築かれました。城内には野面積みの石垣や、打
ち込みハギ、切り込みハギを用いた石垣が見られます。
また、石垣には「△」「田」など刻印のある石や、
石の表面をノミで加工した痕跡が残るもの、石を
割った矢穴の跡があるものが見られます。

野面積み

南の山麓（さんろく）に
る延長約80mの石垣は生
氏時代のもと言われて
ます。内濠北側の土堀下
石垣にも一部見られます。



丸亀城築城に まつわる伝説

二の丸井戸の伝説

丸亀築城の折、常に裸になってせつせ
と働く羽坂重三郎という男がいました。
彼の働きもあって壮麗な石垣は完成しま
す。殿様も「この城壁ならば飛ぶ
鳥以外は 乗り越えられまい」とご

満悦で
したが、
何を思
ったか
その
男は、
「鉄の
棒で登



—— 石垣満喫ルート

美しい石垣を楽しみながら歩く、ゆったりコース。帰りは搦手ルートから下り、資料館に寄って帰るルートもおおすすめです。

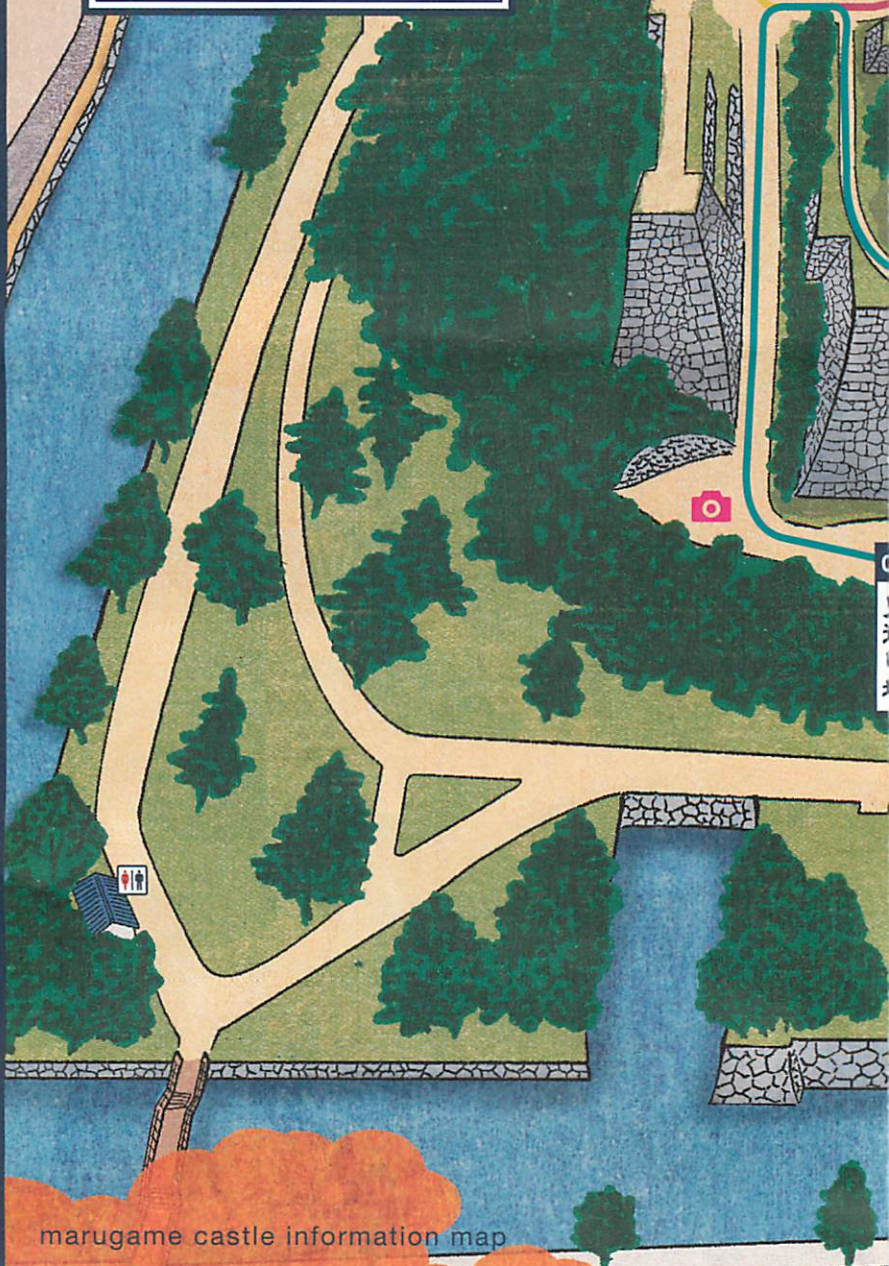
—— 最短ルート

所要時間：大手門より約15分

—— 搦手ルート

初期の野面積みが見られるルート。最初の大手（正門）の門跡と言われている礎石が見られます。

 撮影スポット





(一の門内部)



01 大手一の門(太鼓門)

大手一の門は、ひとかかえもある大きな柱や梁(はり)でしっかりと組み、正門らしい威厳と風格を備えた櫓門です。藩士が太鼓を打ち、刻(とき)を知らせていたことから”太鼓門”とも呼ばれています。東側には、枳形があり、門上にある「石落とし」から攻撃できるようになっています。

入場無料(9:00~16:30 雨天閉門)

03 玄関先御門・番所・長屋

この門は、京極氏の屋敷の表門にあたり、形式は薬医門です。この門に接して番所・長屋があります。芝生広場や資料館は、かつては藩主の屋敷地でした。

02 大手二の門

一の門と同時に建てられた、高麗門(こうらいもん)形式の門です。大手とはお城の正面のことを指し、追手とも書きます。大手二の門は丸亀城の顔にふさわしく、石垣に使用されている石は大きく、ノミの跡も美しく仕上げられています。

04 丸亀市立資料館

【開館時間】

9:30~16:30

【入館料】

無料(企画展では有料あり)

【展示資料】

歴史・考古・民俗資料

【休館日】月曜日・祝日・資料整理期間・年末年始等



丸亀城周辺マップ



06 丸亀城内おみやげショップ

07 うちわ工房「竹」



P
66

P

P

P

05 秋実の館

04 レンタサイクル

03 猪熊弦一郎現代美術館

JR丸亀駅

02 太助灯籠

01 うちわの港ミュージアム

中津万象園

西へ2km程度

01 うちわの港ミュージアム

うちわの総合博物館。うちわの貴重な文献や道具、様々な丸亀うちわを展示。丸亀うちわ作り体験もできます。

◎ 9:30～17:00 (入館 16:30 まで)

☎ 0877-24-7055 ㊟ 月曜

02 太助灯籠

こんぴら参りの上陸港として賑わった頃の江戸講中灯籠。

03 猪熊弦一郎現代美術館

丸亀にゆかりのある国際的洋画家猪熊弦一郎の常設展示に加え、現代美術の企画展を行う。

◎ 10:00～18:00 (入館 17:30 まで)

☎ 0877-24-7755 ㊟ 月曜

04 レンタサイクル

JR 丸亀駅を降りてすぐ南 (徒歩 1 分)。丸亀城には駐輪場もありとっても便利です。

◎ 7:00～19:00 ☎ 0877-25-1127 ㊟ 無休

05 秋寅の館

商店街に残る旧き商家を観光客や訪れた人達との交流の場として開放している。情報コーナーや市民ギャラリー、公衆トイレも設置しています。

◎ 10:00～17:30 ☎ 0877-21-1511 ㊟ 水曜

06 丸亀城内おみやげショップ

丸亀城内おみやげショップ (丸亀城内観光案内所) では、丸亀限定のお土産がいっぱい!

◎ 9:00～16:30 ☎ 0877-25-3881 ㊟ 無休

07 うちわ工房「竹」

丸亀城内にあるうちわ工房。熟練した職人によるうちわ作りの実演や販売を行っています。製作体験 (骨製作、貼り) も大人気!

◎ 10:00～16:30 ☎ 0877-25-3882 ㊟ 水曜

<< 中津万象園 >>



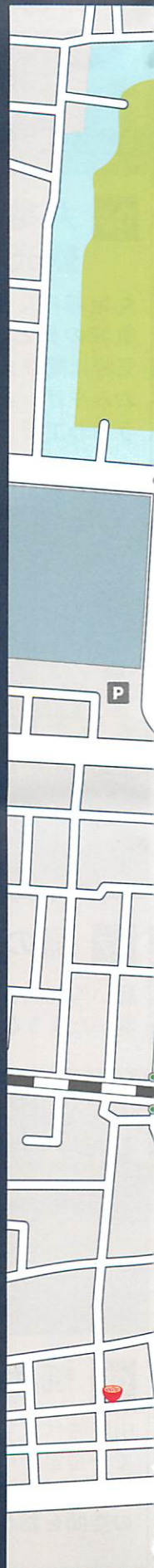
丸亀藩主・京極高豊侯によって築庭された広大な回遊式日本庭園。園内には、絵画館、陶器館、ひいな館も併設。

📍 〒763-0054 香川県丸亀市中津町 25-1

◎ 9:30～17:00 (入園 16:30 まで)

☎ 0877-23-6326

㊟ 水曜





05 丸亀城内 観光案内所

丸亀城内にある観光案内所、丸亀城の見どころ、所要時間など気軽に聞けます。

おみやげショップ、
うちわ工房「竹」も併設。



06 見返り坂

大手一の門を入り左へ進むと、斜度約10度、150mある「見返り坂」に差し掛かります。坂は途中で右へ曲がり、さらに急勾配となります。



07 扇の勾配

緩い勾配から次第に急になる上部で反り返る石垣の優美な曲線は、扇を開いたような形状。防御性を高めるとともに美しさも兼ね備えています。



09 三の丸

本丸・二の丸を取り囲む平場。かつては3つの隅櫓があり、火災で焼失した焼跡も見られます。吉井勇の歌碑や、抜け穴伝説のある三の丸井戸などの興味深い史跡が数多く見られます。

08 搦手口

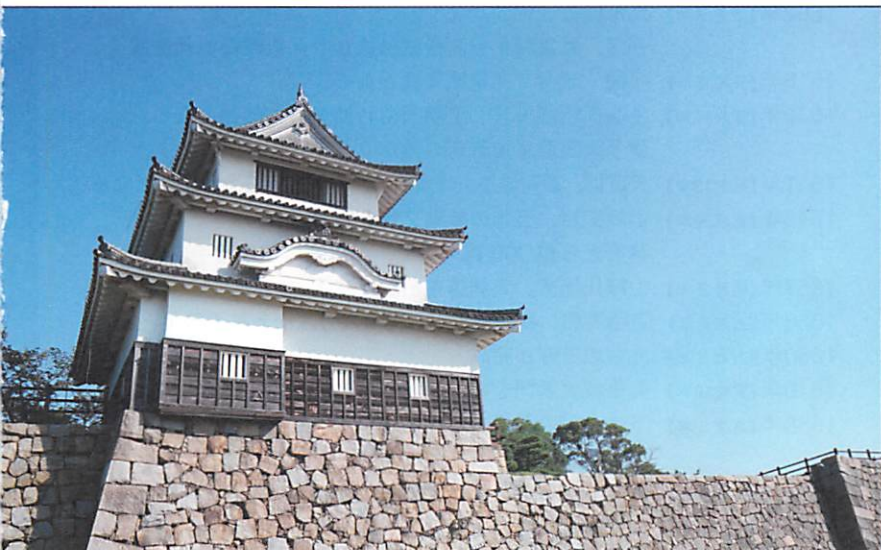
山崎時代までは大手側であり城内で一番堅固に作られた場所。立派な石垣が通路を取り囲み、城独特の空間を創り出しています。

10 二の丸

山上で2番目に高い平場（曲輪）です。本丸同様石垣上に隅櫓や渡櫓が全体を取り囲んでいました。現在は、桜が植樹され、広場となっています。

11 本丸

山上の最高所。天守の他に隅櫓、渡櫓、土塀が石垣上に巡っていています。中央部の地下約 16 ㍍のところには安山岩の岩盤があり、自然の岩山を利用して丸亀城が築かれていることがわかります。礎石、排水路を一部復元しています。

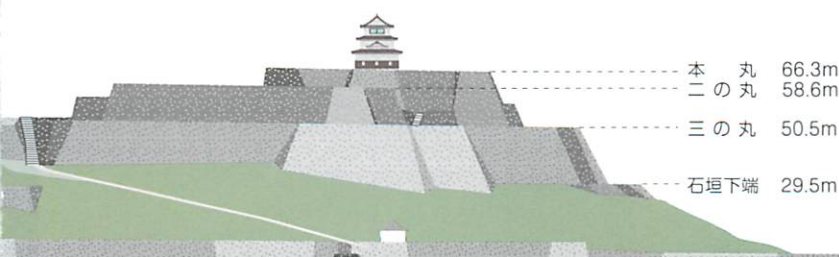


12 天守

現存する木造天守 12 のうちのひとつ。高さ約 15 ㍍となる三層三階造りで、四国内の木造天守の中では最古と考えられています。唐破風や千鳥破風が巧みに配置され、北側に付けられた石落としや素木の格子などの凝った意匠は見ものです。

高さ日本一の石垣

丸亀城は石垣の名城として全国的に有名です。標高約 66m の亀山に築かれた平山城で、別名亀山城と呼ばれています。



よみがえる丸亀城～丸亀歴史体感無料アプリ～



CGで復元した江戸時代の丸亀城を体感できるアプリ！専用アプリをインストールして、城内の好きな場所で端末をかざすと、石垣の上に建ち並ぶ櫓を見たり（丸亀城復元 VR）、丸亀城に関する人物との記念撮影（AR）、丸亀城や周辺文化財の解説が楽しむことができます。



🔍 丸亀城

で検索

🍏 App Store
からダウンロード

🌐 Google Play
で手に入れよう

丸亀城略年譜

- 1587年【天正15年】生駒親正、讃岐十七万六千石に封ぜられる。
- 1597年【慶長2年】親正、一正父子、丸亀城築城に着手。
- 1602年【慶長7年】丸亀城築城完成。
一正、丸亀城から高松城へ移り、丸亀城に城代を置く。
- 1615年【元和元年】一国一城令で丸亀城廃城となる。
- 1640年【寛永17年】生駒氏所領没収、出羽国由利郡矢島に転封となる。
伊予大洲藩主加藤氏の預かりとなる。
- 1641年【寛永18年】天草郡、富岡城主山崎家治、西讃岐五万石余の領主となる。
- 1643年【寛永20年】山崎家治、当年の参勤交代を猶予され、
幕府から銀300貫を得て、丸亀城再建に着手する。
- 1657年【明暦3年】山崎氏絶家。大洲藩主加藤氏が番する。
- 1658年【万治元年】京極高和、播州龍野から丸亀六万六十七石の藩主となる。
- 1660年【万治3年】丸亀城天守が完成。
- 1670年【寛文10年】丸亀城大手門を南から北へ移す。城内屋敷の建設。
- 1688年【貞享5年】下金倉村の海浜、中洲に京極家別館をつくりはじめる。
(現中津万象園)
- 1694年【元禄7年】高或3代藩主となり、庶兄高通に多度津一万石を分ける。
- 1869年【明治2年】京極朗徹、版籍を奉還し、丸亀藩知事となる。
藩主居館出火により消失す。
- 1877年【明治10年】丸亀城の櫓、城壁などこの頃までに取り壊される。
- 1943年【昭和18年】丸亀城天守、国宝に指定。
- 1950年【昭和25年】天守解体修理が完成。
天守、法改正により重要文化財となる。
- 1953年【昭和28年】丸亀城跡が国指定史跡となる。
- 1957年【昭和32年】丸亀城大手門が重要文化財に指定される。
- 1963年【昭和38年】丸亀城玄関先御門等が県指定文化財となる。

記念スタンプ ~丸亀城天守に設置しているスタンプを押そう!~



丸亀城公式
ホームページ



丸亀市の観光
イベント情報
はコチラから

(一財) 丸亀市観光協会
763-0045 丸亀市新町6番地2
TEL: 0877-22-0331